

日本労働組合総連合会岩手県連合会  
(連合岩手) 発行人 鈴木 圭

〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目1番16号  
TEL(019)625-5505 FAX(019)623-1105  
印刷 川口印刷工業(株)

## 2024岩手県平和運動 核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を!



伊藤裕一 実行委員長  
(連合岩手 会長)



佐藤工 平和環境岩手県センター議長  
(平和運動 副実行委員長)



山田清秋 KAKKIN 岩手議長  
(平和運動 副実行委員長)



平和キャラバン  
横断幕手交

7月22日、2024岩手県平和運動実行委員会(連合岩手、平和環境岩手県センター、KAKKIN岩手)は、岩手県公会堂前において平和キャラバン出発式を行いました。伊藤裕一実行委員長に続き、佐藤工議長(平和環境岩手県センター)、山田清秋議長(KAKKIN岩手)より各団体を代表してのあいさつの後、県内3コースのキャラバン隊責任者へ平和キャラバン横断幕が手渡されました。

キャラバン隊は、県内を3コース(沿岸北コース・沿岸南コース・内陸南コース)に分かれて「核兵器の廃絶」と「世界の恒久平和の実現」を訴えながら、7月25日までの四日間に亘り各地で平和集会、平和行進を行いました。

## ノーモア・ヒロシマ! ノーモア・ナガサキ! 2024原爆展~戦後79回目の夏~

7月22日~25日まで岩手教育会館1Fふれあいギャラリーにて、連合「2024原爆展」を開催しました。当時の被災状況や核廃絶を訴えるこれまでの様々な活動状況など、パネル30枚の展示を行いました。訪れた方々は、原爆投下の様子や被爆した人々の写真、それにまつわる解説をじっくりと見つめ、改めて核兵器の悲惨さを感じられている様子が多くうかがわれました。



実行委員長あいさつ



伊藤裕一実行委員長（連合岩手会長）

すべての核実験・核兵器に反対しよう 子どもたちに核兵器のない未来を!

# 2024岩手県中央平和集会

## 7月25日「岩手教育会館」に約100名が集結

2024 岩手県中央平和集会にお集まりのみなさま、大変ご苦労様です。実行委員長を務めます、連合岩手の伊藤です。

各地区においても、平和集会、あるいは平和行進に取り組んでいただきました。大変ご苦労様でした。

また、今年も、高校生平和大使・一万人署名実行委員会の皆さんには、本日の集会をはじめ、各地区の集会など平和行動に参加いただいています。

感謝申し上げますとともに、皆さんの活動に改めて、敬意を表します。

さて、先日の月曜日、22日の平和キャラバン出発式において、実行委員会構成団体である平環センター、佐藤議長、KAKKIN 岩手、山田議長からもご挨拶いただき、その中でも触れていただきましたが、先の大戦では、全世界で5000万人から、8000万人が犠牲となりました。記録によっては、8500万人とも言われています。そして現在、世界の核弾頭保有数は、およそ1万2千発。広島・長崎に投下された原子爆弾とはケタ違いの威力を持ち、地球を5回破滅させるだけの威力を持つと言われています。そんな風に言われても、もしかすると、あまりにも現実からかけ離れていて、ピンと来ないかもしれません。そんな方はぜひ、この会館1階、ふれあいギャラリーで開催しておりました原爆展、本日18時までの開催でしたが、明日の午前中に撤去いたしますので、デモ行進までの短時間であれば、まだ眺める程度はできますので、ぜひ、ご覧いただけたらと思います。

世界では今も、至る所で紛争や戦闘行為が行われています。とりわけ、ロシア・ウクライナ戦争、そして、ハマス・イスラエル戦争は、その規模も大きく、多くの一般市民が犠牲になっています。それぞれに、それぞれの主張があることまで否定はしませんが、だからといって、戦争を肯定することはできません。戦争によって犠牲になるのは、常に、幼い子ども達を含めた、罪もない一般市民です。即時の停戦と、話し合いによる平和的な解決、そして、それぞれの地域に住む人々が、一日も早く、当たり前の日常を取り戻すことができるよう、願って止みません。

今年で戦後79年を迎えます。残念ながら、原爆等による被爆者の方々、あるいは、戦争を体験した方々は、年々少なくなっています。そのように、戦争の記憶が年々、遠くなりつつある中で、私たちが、平和と反戦を訴えていくこと、核兵器の廃絶を訴えていくことは重要です。本集会であらためて、過去の凄惨な、犠牲を伴った教訓を風化させない運動を、粘り強く続けていくことを決意しながら、実行委員会を代表しての挨拶といたします。ともに頑張ってくださいませ。



2023 平和行動 in 根室報告及び  
2024 平和行動 in 広島決意表明



2024 平和行動 in 広島・折り鶴伝達



平和アピール



集会参加者



高校生1万人署名報告



平和を訴えるデモ行進

## ◆平和キャラバン(県内 3コース)・各地で平和集会を実施◆

### ■ 沿岸北コース



宮古地区



久慈地区



二戸地区

### ■ 沿岸南コース



気仙地区



釜石地区



遠野地区

### ■ 内陸南コース



一関地区



胆江地区



花巻北上地区

**こくみん共済 coop では 自賠責共済 を取り扱っています！！**

自動車損害賠償責任共済

こくみん共済 NEWS  
0324807

運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

**自賠責共済とは？**

自動車損害賠償責任法によって、道路を走るすべての自動車(二輪車を除く)・原付自動車を走行する際に、加入が義務付けられている共済(保険)です。

死亡	補償 5,000万円
1人当り	補償 1,000万円
傷者(入院)	1日あたり4,000円(1ヶ月あたり75万円)

※補償限度額(死亡) 5,000万円(1人当り) ※1日あたり4,000円(1ヶ月あたり75万円) ※補償限度額(入院) 1日あたり4,000円(1ヶ月あたり75万円)

**もし、自賠責共済(保険)に加入していないと？**

未加入で運行した場合、法律により罰せられます。

自賠責の  
期間内  
の  
免許停止 (過失相済  
なし)

1年  
以下の  
懲役  
以下の  
罰金

**原付・バイクをお持ちの方は特に注意！**

車種制度のない原付・250cc以下のバイクは自賠責共済(保険)の有効期限切れに特に注意が必要です。いざ一応、有効期限をご確認ください。

原付車  
原付バイク

公式キャラクター  
ビッチくん

●CCCに加入している内務省 消防団員の補償を制限したものです。

マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。

**こくみん共済 岩手推進本部**

岩手県労働者生活協同組合連合会 COOP (岩手県労働者共済生活協同組合)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目指しています。この趣旨にご賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

共済ショップ盛岡店	☎ 019-622-0631
共済ショップ北上店	☎ 0197-65-0160
共済ショップ一関店	☎ 0191-26-2678
共済ショップ釜石店	☎ 0193-21-1122

お近くの窓口はこちら

— 3 —

JTUC

# 平和行動in沖縄報告 (6月22日～25日)

宮古地協 田代 ふくみ (全農林 岩手分会)

6月22日から25日までの3泊4日、お陰様で平和運動に参加出来た事に、連合のスタッフ様を始め宮古庁舎の組合の方々に感謝致します。

暑さと湿度での急勾配の見学移動、それと食の違いでしんどかった事が多かった沖縄でしたが、1000人の参加者で行われた平和集会での事を伝えたいと思います。琉球の演舞で開会の幕開けをしました。

力強く全身に響き渡るその音と姿に涙が止まりませんでした。

戦死した人や罪もない子供や女性たちの姿なき御霊を1人残らず呼び起こし、身体中で踊っている姿に思えたからです。

のどかな島の普通の営みを戦争という理由で死のかたまりに変貌させ、罪もない命を絶たれ、罪もない命を国の為と家族の為に自ら捨て去る、赤と灰色の生き地獄だったはずです。

いつだって戦争の後には哀しみしか残らない事は言うまでもありません。

昔から陣取り合戦という戦争が繰り返され、どの国も戦争はしないと断言する国はひとつもなく、いつもいつだって懲りずに戦争をしている現在です。

愚かな大人達は戦争の苦しみを知ろうともせず語ろうともせず戦争の同意者と言えるでしょう。

歴史の本や教科書では戦争の過去を薄めています親から子、1人から2人へと生の事実を語り伝える事を願うばかりです。

平和集会で見た琉球の舞の姿は今も魂は語り継がれ戦争はしない、したくないと御霊への祈りに想えた自分でした。

どうぞ22万人の兵士、女性、幼い子供達の御冥福をお祈りいたします。

情報労連岩手県協議会 酒井 裕美 (NTT 労働組合岩手分会)

今回、平和行動自体初めて参加させていただきました。

沖縄はプライベートで数回訪れたことはありましたが、悲しい歴史があったことは知っていても深くまで学ぶ機会が無かった為、今回の平和行動は私の中でかなり衝撃的な体験となりました。

ピースフィールドワークで中部戦線だった嘉数高台・旧海軍司令部壕・ひめゆりの塔/資料館・魂魄之塔・平和記念公園/資料館と巡り、当時の銃弾跡や数々の写真や残された手記を見て胸が締め付けられるような何ともいたたまれない気持ちになりました。

改めて平和について深く考えさせられた3日間でした。

二度と悲劇を繰り返さないよう、そして未だに癒えない傷があることを忘れないよう、今回の経験を職場や家族や友人へも展開したいと思います。

1人でも多くの皆様に平和行動にご参加いただき、一緒に平和を継承頂けると幸いです。



連合平和オキナワ集会